

PUBLIC WAY 2019-20

～社会正義への道～



PUBLIC-G.COM

株式会社パブリック

香川県観音寺市大野原町福田原241番地1
TEL:0875-57-1200 FAX:0875-57-1201

<https://www.public-g.com>

PUBLIC-G



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC[®] C004514

この印刷物は、環境にやさしい
「ノンVOCインキ」と
「FSC認証紙」を使用し、
「水なし印刷」で製作しています。

2,500部作成のための総排出量 1,408.1kg-CO₂ 1部あたり564g-CO₂
この印刷物から発生するCO₂はカーボン・オフセット・ジャパン(www.co.jp)を通じてオフセットされています。

Future Creation
Love Earth Mind



PUBLIC WAY 2019-20

～社会正義への道～



PUBLIC-G.COM

株式会社パブリック



「パブリック」とは“社会正義”

Contents

編集方針／対象範囲／環境方針	01
トップ・コミットメント	02
【特集1】 高松事業所選別ライン設置	03
【特集2】 ホームページリニューアル	04
I 環境マネジメント	
会社概要・沿革／経営理念	05
香川県環境配慮モデル事業所認定／車両紹介	06
パブリック・グループ業務内容紹介	07
パブリック事業拠点と一般廃棄物対応エリア一覧／産業廃棄物許可一覧	09
II 環境負荷の低減	
マテリアルバランス	11
産業廃棄物収集運搬（特管）と処分量取扱量	12
III SDGs達成へ向けた取組み	
●ステークホルダーエンゲージメント	13
お客様・社員・地域とのコミュニケーション	
●バリューチェーンマネジメント	17
リサイクル処理	
●食品リサイクルの取組み	19
チャンスコード（クレーム）とその対応／用語解説	21
編集後記／本報告書の作成について	22

編集方針

- 環境省「環境報告書ガイドライン～持続可能な社会をめざして～（2007年度版）」を参考に作成しております。
- 当グループの社会との関わりやコミュニケーションに重点をおくものとして、その取組を中心に掲載しております。

「PUBLIC WAY」の対象範囲

対象期間

2018年9月～2019年8月

但し行政報告数値などは2018年4月から2019年3月となっております。また、ユーティリティ数値およびそれに基づくCO₂排出量の集計期間は該当ページに記載しております。

対象組織

株式会社パブリックおよびグループ会社、一部指定管理先および合同出資会社も含まれます。

報告範囲

当グループ事業における環境的側面と社会的側面についてご報告致します。

環境方針

1. 組織の目的、活動、状況

当社及び当社グループの廃棄物処理事業において、環境を大切にする当社経営理念に基き、環境に配慮した活動を展開します。

2. 環境目標の設定のための枠組

環境方針の達成、利害関係者のニーズ及び期待、当社事業をとりまくリスク及び機会等外部及び内部の課題を考慮した環境目標を設定し、意図した成果の達成に取組みます。

3. 汚染の予防、環境保護のコミットメント

廃棄物処理事業にかかる環境影響を把握し、廃棄物の適正処理を推進し環境汚染の予防に努めます。廃棄物を資源としてとらえリサイクルを推進するとともに、燃料・電力等エネルギーの適正な使用に努め環境負荷の低減に取組みます。

4. 順守義務のコミットメント

廃棄物処理事業にかかる各種法令・条例・許可条件等を順守し、廃棄物の適正処理に取組みます。当社事業活動により環境への問題が発生しないよう地域の生活環境に配慮した事業活動を行い、地域社会の理解と信頼を高めるように努めます。

5. 繼続的改善のコミットメント

環境目標の意図した成果への取組み評価を行い、環境パフォーマンスを向上させるために継続的な改善を行います。是正すべき問題点が発生した場合には、原因を究明し再発防止に取り組みます。

全従業員がこの環境方針の認識をもつよう伝達し、環境への意識向上を図り環境活動に取組みます。この環境方針は利害関係者等が入手出来るよう一般に公開します。

株式会社パブリック 代表取締役社長 川崎 佳日出

という意味なんだよ。

元日本弁護士連合会会長
中坊公平先生 談（1995年12月10日）



Top Commitment

トップ・コミットメント

株式会社パブリック 代表取締役社長

川崎 佳日出

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会が終焉を迎え、自然の循環を尊重し、人間社会における炭素も含めた物質循環を自然、そして地球の大きな循環に沿う形で健全なものとすることが求められる社会となりました。
そんな循環型社会の実現、また、SDGsの実践の最前線に弊社は存在しております。

「企業は人なり」

企業も人との循環の中で成長すると私は信じております。

健全な企業には健全な精神が宿り健全な人が集まり更に健全な企業となり、そしてステークホルダーの皆様の幸せが実現できる。そんな企業であり続けたいと考えております。

PUBLIC WAY「社会正義への道」を天命と信じ、

日々の努力を忘れることなく、精進してまいる所存でございます。

今後もご指導、ご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

パブリックNEWS①

高松事業所 選別ライン設置

2018年
11月より

昨年の11月より、高松事業所にて選別ラインの稼働をスタートしました。様々な廃棄物が混ざった状態では適正な処理やリサイクルを行う事が出来ないため選別作業を行い、廃棄物をリサイクル処理できるもの、埋立処理しなくてはいけないもの、焼却処理するものなどに選別した後、適正処理にまわされます。高松市内や東讃地区からの混合廃棄物や建設混合廃棄物などを高松事業所にて中間処理することで、より早くまた多くの廃棄物処理を行えるよう努力して参ります。

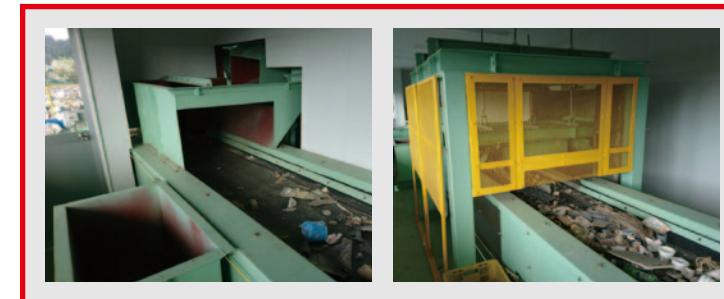


安全に作業ができるように、「安全祈願祭」の様子。

廃棄物投入口



選別ライン



様々なごみを選別しリサイクルします



パブリックNEWS②

ホームページ リニューアル

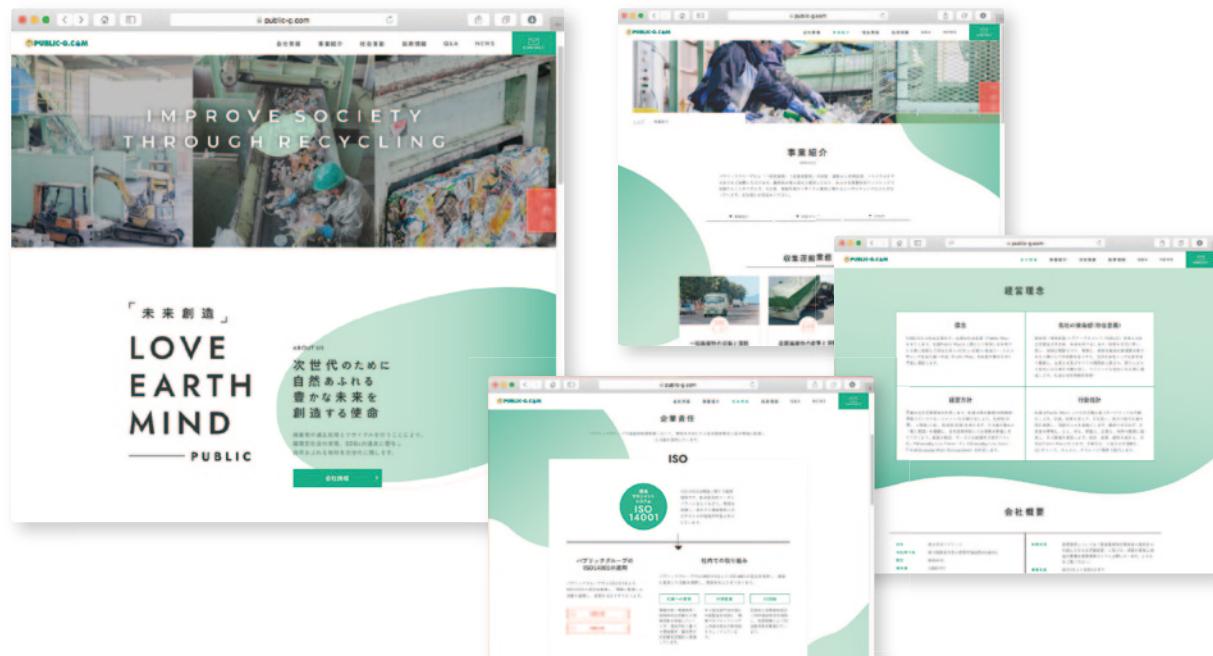
2019年
10月より

ホームページのリニューアルにあたり各所施設の撮影をしていただきました。プロのカメラマンに作業現場から施設内の風景、パッカー車が走る様子などを3日間かけて撮影してもらいました。天候にも恵まれ無事に撮影を終えました。ホームページは10月よりリニューアルし公開しておりますのでご覧ください。

<https://public-g.com>

PUBLIC-G

検索



3日間の撮影の様子



すっきりした
デザインで
見やすくなり
ました！



会社概要・沿革

会 社 名	株式会社パブリック
本 社	香川県観音寺市大野原町福田原241番地1
電 話	0875-57-1200
資 本 金	3,000万円
グ ループ 年商	45億円
従 業 員 数	290名(内パート・アルバイト70名)
主な事業内容	一般廃棄物収集・運搬・処分 産業廃棄物収集・運搬・処分 特別管理産業廃棄物収集・運搬 廃棄物再生利用 普通肥料生産 財務状況
	財務諸表については「産業廃棄物処理業者の優良性の判断にかかる評価制度」に基づき、貸借対照表と損益計算書を産廃情報ネット※に公開しています。 ※ http://www.sanpainer.net/index.cfm

沿革

昭和48年 5月 一般廃棄物収集運搬業開始
 昭和52年 7月 産業廃棄物処理業開始
 平成 7年 1月 有限会社パブリック設立
 平成14年 8月 ISO14001認証取得
 平成17年 4月 固形燃料化施設設置
 平成17年 6月 木くず破碎施設
 平成17年 7月 本部事業所を観音寺市大野原町移転
 平成18年 8月 選別施設設置
 平成18年 11月 松山事業所開設
 平成19年 7月 四国中央事業所開設
 平成19年 9月 株式会社パブリックへ商号変更
 平成20年 3月 観音寺市指定管理者の受託業務
 平成21年10月 高知営業所開設
 平成25年 3月 エコアクション21認証取得
 平成25年 7月 香川県 優良産廃処理業者認定
 平成25年 9月 最終処分場(安定型)の許可
 平成26年11月 愛媛県 優良産廃処理業者認定
 平成26年11月 高松市 優良産廃処理業者認定

経営理念

信念

PUBLICとは社会正義なり。
 私達は社会正義[Public Way]を全うします。
 私達Public Manは人類として地球に生を受けたる事に感謝し、立派な日本人、社会人、企業人、家庭人一人の人間として、社会正義への道[Public Way]を目指す事を天命と自覚し邁進します。

我社の使命感(存在意義)

使命感「未来創造・ラブアースマインド-PUBLIC」 未来とは社会正義溢るる将来、未来を作り出します。地球を大切に思い、愛し、地球の静脈を守り、管理し、地球の最高の管理責任者である人類としての役割を全うする、立派な会社として社員を育て練磨し、お客様及びすべての関係者に愛され、頼りにされる会社になる事を天職と信じ、パブリックな会社になる事に邁進します。私達は地球静脈防衛軍!!

経営方針

私達は社会正義経営を約束します。
 私達は現在業務(地球静脈管理コストのマネージメント)を天職と信じます。社会性(天道)、人間性(人道)、経済性(営道)を保ちます。その道を極めた「極人軍団」を組織し、全員営業体制にてお客様を開拓し、そして守ります。最高の商品、サービスを低価格で提供すべくE.L.P(everyday low price)・E.L.C(everyday low cost)・E.H.M(everyday high management)を約束します。

行動指針

私達はPublic Manとして社会正義に基づきパブリックな行動をします。訓練、研修を怠らず、天を信じ、自己の能力を最大限に発揮し、周囲の人々を幸福にします。親孝行を忘れず、年長者を尊敬し、心と、体と、頭脳と、企業と、地球の健康に留意し、自己管理を徹底します。挨拶、返事、履物を揃える、元気なPublic Manになります。万事五分、人生五分を理解し、3C(チャンス、チョイス、チャレンジ)精神で断行します。

認定・表彰

香川県環境配慮モデル事業所認定

弊社の「生物脱臭装置の開発」、「実用化による臭気に対する環境保全」、「一般廃棄物及び産業廃棄物の再資源化」などの取組みが平成29年度の香川県環境配慮モデルに認定されました。また「認定リサイクル製品」として丸亀リサイクルプラザで食品リサイクルにて製造しております堆肥の「リ・グリーン」と「食品汚泥ゆうき」が認定を受けました。

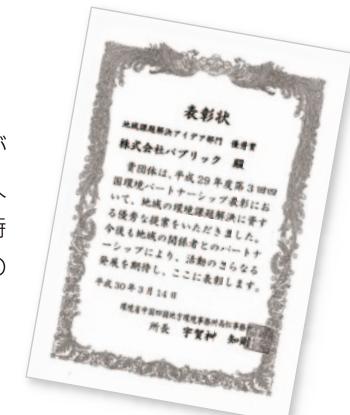


※「香川県環境配慮モデル制度」とは、循環型社会を形成していく上で、環境負荷の低減の取組みにおいて、同業他社の模範になると判断される県内の事業所を「モデル事業所」として認定する制度です。
 ※「認定リサイクル製品」とは、廃棄物等を使用して県内において製造加工され、廃棄物等の発生抑制やリサイクルの推進に効果があり、他の模範となるような製品であると県が認定したリサイクル製品です。

■香川県 環境配慮モデルサイト <http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/hozon/model/index.shtml>

環境省 四国環境パートナーシップ

「第3回四国環境パートナーシップ表彰 表彰式」に於きまして弊社の「環境保全活動」が地域課題解決部門の優秀賞を受賞いたしました。四国内の行政や企業や学校、NPO法人などの団体の中から「着眼点」、「協力・協調」、「社会への貢献度」、「発信力」、「課題の同時解決」などの審査基準により優れた取り組みに対して選考され、本年は弊社の他に愛媛県の高校3校とその他2つの団体が表彰されました。



様々な車両で、多種多様な廃棄物に対応しております。



塵芥車
(大型)3台 (中型)54台

コンテナ脱着車
(大型)10台 (4t)13台 (2t)6台

キャブオーバー車
(2t)12台 (軽トラ)8台

保冷車
(中型)2台

高圧洗浄車
(中型)1台



ダンプ
(大型)2台 (中型)1台

バン
(中型)12台 (小型)8台

ウイング車
(大型)1台

バキューム車
(大型)2台 (中型)2台

パブリック・グループの業務内容紹介

収集運搬

一般廃棄物の許可エリア、所有する車両台数などは四国最大級を誇る当社はサービスでもナンバー1を目指しております。産業廃棄物では常に新メニューを取り入れ多種多様なメニューを準備しており、状況に応じた適切な対応が可能となっております。

PSSMD (パブリック・スーパー・セールス・マネジメント・ドライバー)
教育や外部からのプロセールスドライバー講師を招いての添乗指導、検定制度など、運搬のサービス面の強化に努めています。

14PでPSSMDについて紹介



マンション等の維持管理工事レスキュー対応



集合住宅などの共有スペースの剪定作業や草抜き、害虫駆除や清掃、電球交換等の維持管理の工事を行っております。

引越しなどにより入居者の方が退去された後の部屋を入居前の状態に施工する工事です。次に入居される方が気持ちよく生活できるように細かなところまで気配って作業を行います。

エコステーション提案・管理

スーパーの駐車場や公共施設等に市民の皆様がいつでも利用できる資源回収スポットです。古紙や空缶、ペットボトル等の資源を回収再資源化します。回収ボックスを設置するだけの簡易タイプからポイント券も発行できる機材を設置したタイプまで、お客様のニーズにお応えいたします。当社は世界No.1ブランドTOMRA(ノルウェー)の四国地区総代理店です。



一般廃棄物収集運搬

四国全域で60台を超える車両が、365日休まずにごを回収しております。約4000件にものぼるお客様のニーズにお応えできるよう、PSSMD教育を受けたドライバーがお伺いします。

産業廃棄物収集運搬

産業廃棄物から感染性廃棄物やPCB廃棄物、廃石綿などの特別管理産業廃棄物の収集運搬許可を得ておおり、さまざまな車両を用いて、多彩な状況に適切かつ迅速な対応をいたします。

一般・産業廃棄物処分業／リサイクル

ご紹介している業務の他、様々な品目や処理方法に対応しております。



エコマスター

パブリックとエビス紙料の共同出資による(株)エコマスターの「バイオマス資源化センターみよ」では、三豊市内で発生する一般廃棄物の燃やせるごみおよび産業廃棄物を微生物で発酵乾燥させ、最終的に固形燃料にリサイクルします。環境省から補助金を受けて整備を進め、平成29年より稼働を開始しました。日本初のリサイクル技術で低炭素社会に貢献します。

計量証明事業

有限会社ヴェインは、自然環境と人間が共生する循環型社会を目指す一環として、平成18年に香川県知事登録を受け、計量証明事業を立ち上げました。(環境第23号)各種工場の排水・工程水、浄化槽排水、最終処分場などの様々な水の分析を行っています。また廃棄物の性状検査・有害物検査・土壌検査・ダイオキシン類測定・河川調査なども取り扱っています。



チェーン店等の複数拠点の廃棄物一元管理

複数拠点の廃棄物の窓口が、一つになることで事務作業等の効率化、コストカットに。電子マニフェストの代行入力システムも整備、コンプライアンス面もサポートします。



PUBLIC-G.COM

(有)サンクリーン

(有)丸亀リサイクルプラザ

建設事業部

食品リサイクル

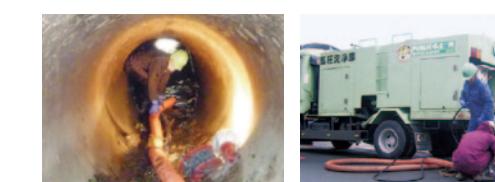
自動選別機

オーガニックファーム

食品リサイクルから生まれた肥料「リ・グリーン」

吸引・高圧洗浄作業

ご紹介している業務以外にも様々な車両、設備を用いて排水周りの業務に対応しております。ご相談ください。



バキューム車を使って排水管や工場ブル、貯水池などに溜まった汚泥・汚水・産業廃液などを吸引し清掃・運搬します。また、店舗様のグリストラップや排水溝の清掃なども承っております。

建設事業部

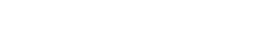
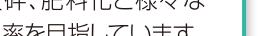
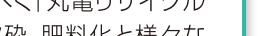
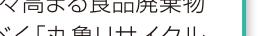
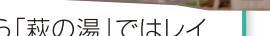
ご紹介している業務の他、住まいに関する様々な問題解決に迅速に対応いたします。



ショッピングモールなどのテナント店舗改修や入替にあたっての仮囲い設置、部分解体、造作撤去、間仕切り壁撤去、床材撤去などの作業を閉店後の時間を使って行います。
使用しなくなった焼却炉の撤去・除染・解体工事一式を行っております。ダイオキシン類による暴露防止措置も適正に処理いたします。

食品リサイクル

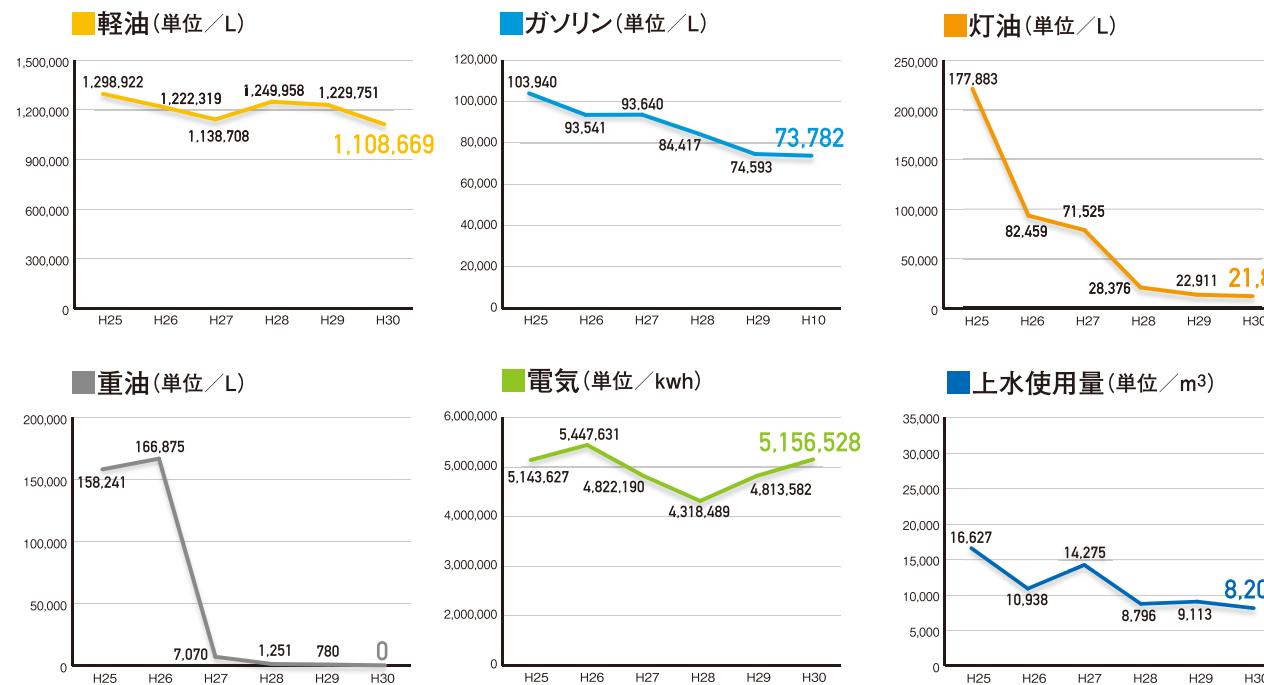
食品リサイクル法の施行以来、年々高まる食品廃棄物のリサイクルへの要求に応えるべく「丸亀リサイクルプラザ」では、選別、発酵乾燥、破碎、肥料化と様々な処理法を駆使し、より高い再生利用率を目指しています。



マテリアルバランス

パブリック・グループの事業活動である収集運搬・中間処理およびオフィス等で使用した資源のinputと環境への排出量outputを表しています。

集計期間
 ■燃料使用量／平成30年4月～平成31年3月までの集計
 ■電気使用量／平成30年4月～平成31年3月までの集計
 ■水道使用量／平成30年4月～平成31年3月までの集計



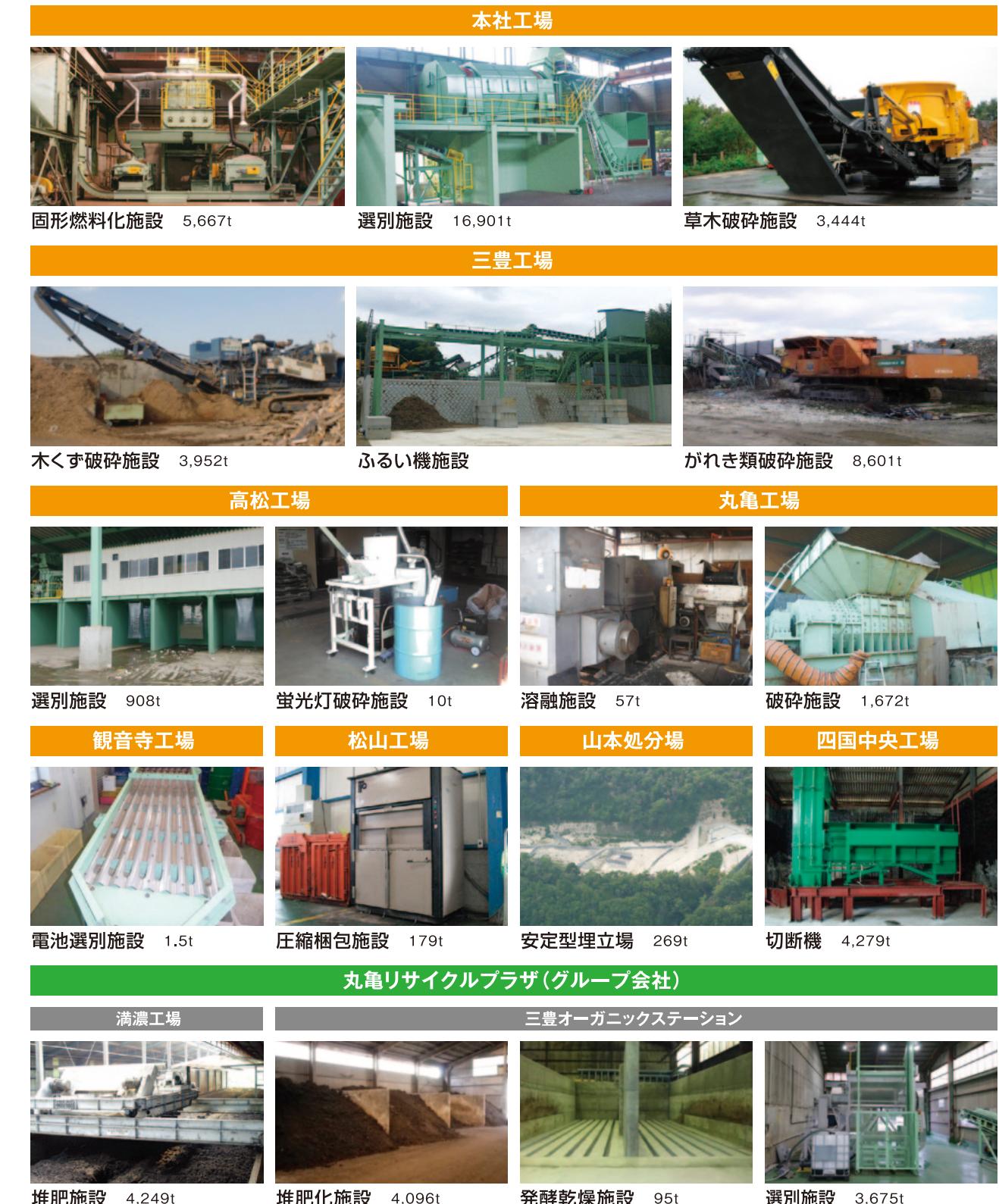
※集計方法の変更により一部数字が変動しております。

オフィスでの環境活動

オフィスでもできる環境取り組みとして、電力の削減を課題として事務所内蛍光灯をLEDにすることで大幅な電力削減が見込まれます。その他にも全事業所の蛍光灯にプラスイッチを設置しました。また、TV会議システムを導入することにより、会議等による事業所間の移動を減らしCO₂の削減とコストダウンにも成功しました。そのほかオフィス内では、ごみの12分類分別や緑化活動にも取り組んでおります。

産業廃棄物収集運搬(特管)と処分量取扱量

平成30年4月1日～平成31年3月31日まで
※代表的な施設のみの掲載です



産廃・
特管運搬量 **48,739t**

産廃処分量 **48,523t**

Stakeholder Engagement

ステークホルダー・エンゲージメント

SDGsとは

2015年に国連サミットにおいて、「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ(原文:Transforming our world : the 2030 Agenda for Sustainable Development)が採択され、17のゴール(目標)と169のターゲットから成る「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)が策定されました。2030年までの国際社会全体の開発目標で「誰一人取り残さない、社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むことを目標としています。

「総務省ホームページより抜粋」



Stakeholder No.1 お客様

エコステーション

スーパーの駐車場や公共施設等の一部をお借りして、市民の皆様がいつでも利用できる資源回収ボックスを設置しています。集まった古紙や段ボール、空缶などを回収し再資源化しています。



パブリック通信

2ヶ月に1度「パブリック通信」を作成し、社内情報をお客様に発信させて頂いております。法律改定や行政報告のご案内から、社内行事の紹介、食品リサイクルループ実現のための試験農場「パブリックオーガニックファーム」の近況報告など掲載しております。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

Stakeholder No.2 社員



永年勤続

永年勤続表彰が各所で行われました。表彰式では、賞状、記念品が受賞者に贈呈されました。今年は、勤続25年が2名、勤続15年が5名、勤続10年が15名の皆さまが永年勤続表彰を受けました。1人でも多くの方に定年まで勤続いただけるような会社でありたいです。



望年会

望年会は毎年ホテルの大広間をお借りして、社員の家族の方も招待して盛大に開催されます。今年も余興やピンゴゲームなどで楽しい時間を過ごしてもらいました。家族の方にもご理解いただける会社にしていきたいです。



人権問題講演会

観音寺市の市民部人権課様より講師の方をお招きし人権問題に関する研修会を実施しました。日常生活で私達健常者がなにげなく生活している中にもたくさんの問題があり、無意識に発した言葉で傷つく方もいるのだと改めて学ばせてもらいました。仕事の面だけでなく、周りの人たちにも気配りのできるようにしていきたいです。



営業部慰労会

1年間の労いを兼ねて慰労会が開催され、年間の成績優秀者が表彰されました。普段は四国各地に散らばり、電話やテレビ会議で話すことが多いのですが、この日は、全員が集まり和気藹々と時間を過ごすことができました。今後、ますますの活躍を期待しています。



PSSMDへの取組み

PSSMDとは… 人柄・営業力・管理能力・安全運転技術すべてを兼ね備えたスーパー・パブリックマン(最終目標)

P 人柄

S スーパー

S 営業力

M 管理能力



一部講習内容

新人研修
KYT(危険予知トレーニング)

PSSMDリーダー研修
安全パトロール・街頭指導

安全講習会
添乗指導 etc...

PSSMDの取組みを
一部ご紹介

- ごみの取り残しチェック
- ごみネットの片付けチェック
- ごみ庫の汚れを常備している水で清掃



- 運転中は基本の指差し呼称
- 駐車時の周囲への気配り
- ミラーを格納

Stakeholder Engagement

ステークホルダー・エンゲージメント

Stakeholder No.3 地域

地域清掃



地元地域で行われる用水路清掃や、草刈り、ごみ拾いなどに参加させて頂いております。清掃活動だけでなくお祭りや催し事などにも参加させて頂き地元の方たちとのつながりを大切にしております。廃棄物を扱うため、臭気、排水、騒音には十分に注意をはらっておりますが周辺の方々のご理解がなければ事業の継続は難しいものです。これからも地元の方との良好な関係を保つていけるようにしていきたいと思います。



犯罪被害者支援自動販売機



「被害者支援型寄付型自動販売機」を設置しております。飲み物代から、10円が「全国被害者支援ネットワーク」とその加盟団体に寄付され、被害者支援活動に活用される仕組みになっており、自動販売機を通じて犯罪や事故被害者の方を支える様々な支援活動に役立てられています。



地元自治会見学会



廃棄物を扱うため、臭気、排水、騒音には十分に注意をはらっておりますが周辺の方々のご理解がなければ事業の継続は難しいものです。年に1度、地元の人たちを工場にお招きし業務の内容や施設の状況を見学していただき、気になるところなどをご指摘いただいております。ご指摘いただいた部分は改善し、後日、再度ご確認いただいております。



工場見学・職場体験



今年多くの小学校から環境学習の一環として工場見学でお越しになりました。ごみについて説明や分別の大切さリサイクルについてなど学んで帰ってもらいました。また中学生の職場体験で弊社を選んでいただいた生徒さんには選別作業などを実際に体験していただきました。今年来社いただいた工場見学を一部紹介します。

平成30年9月／工場見学・職場体験

観音寺市立大野原小学校の児童さん(93名)



観音寺市立大野原小学校は本社のある大野原町の子供たちが通う地元の小学校です。子供たちの父兄の方や卒業生も弊社で働いています。毎年4年生がこの時期に環境学習の一環で見学に見えられるのですが、今年も3クラス93名の児童さんがいらっしゃいました。学校でも環境問題についてよく学んでいるそうですが、実際にごみがリサイクルされて製品になる工程を見たり、できあがった製品に触れたり臭いをかいだりして体験してもらいました。

平成30年10月／工場見学・職場体験

観音寺市立高室小学校の児童さん(20名)



観音寺市立高室小学校の児童さん20名が見学にいらっしゃいました。工場施設の見学のほかに、塵芥車でのごみ収集の実演などを行ってもらいました。年々見学に来られる小学校が増えていますが、それだけ環境に対して熱心になられている学校が増えてきているのだとおもいます。地元だけでなく、観音寺市周辺の教育関係者の皆様、ぜひ見学にお越しください。

平成30年10月／工場見学

観音寺市立栗井小学校の児童さん(9名)



音寺市立栗井小学校の児童さん9名が見学で来社されました。栗井地区も本社の周辺に位置しており、卒業生の社員もいます。この日はあいにくの天気の中、工場見学をしてもらいましたが、みなさん熱心に説明を聞きながらメモを取っていました。少子化の影響で児童さんの数も減っているみたいですが、他の小学校に負けないくらい元気な児童さんばかりでした。

このほかにも見学・体験に多数ご来場いただきました。

Value Chain Management

バリュー チューン・マネジメント

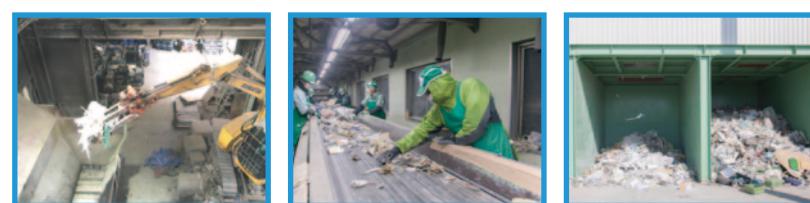
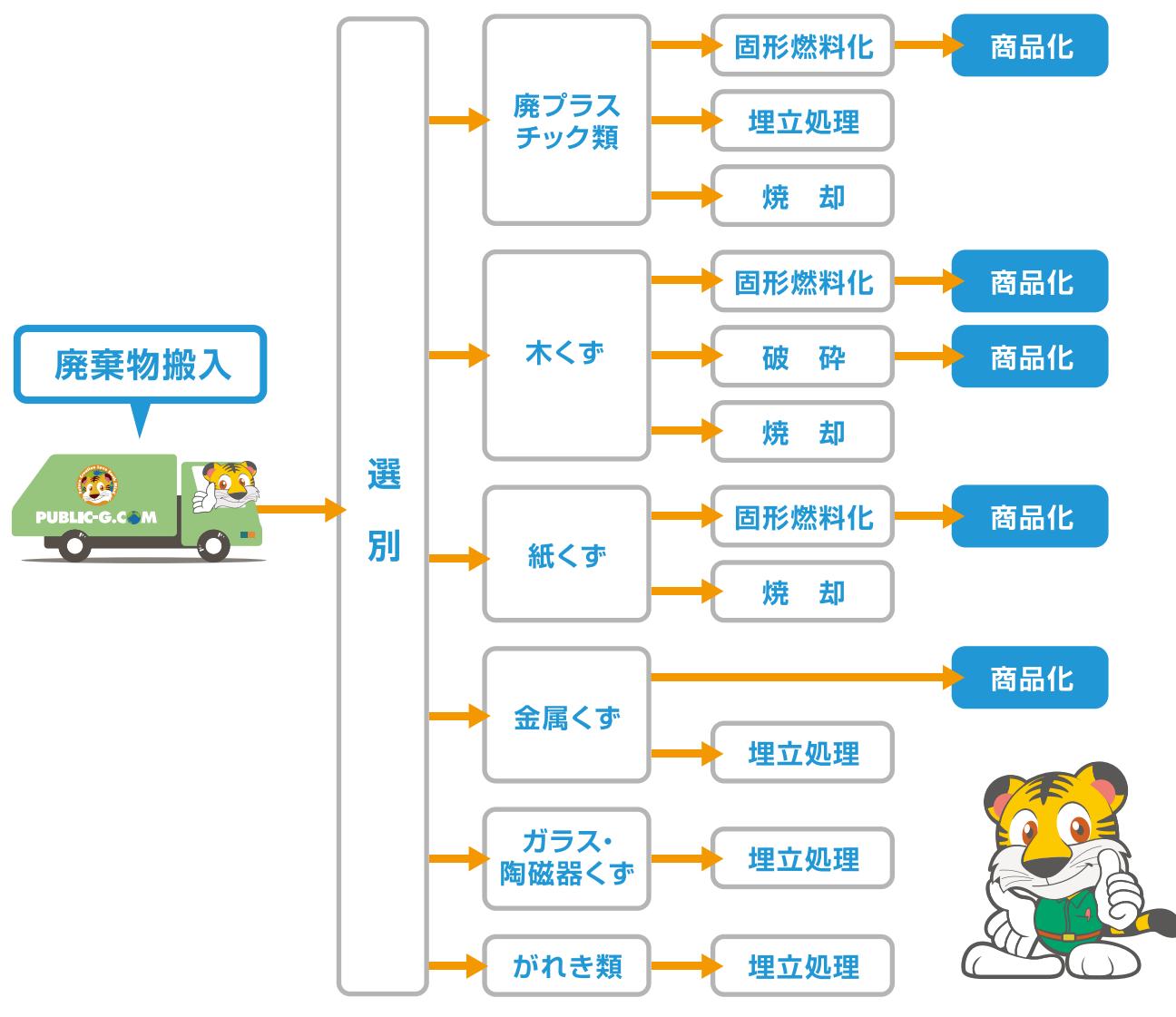
SUSTAINABLE GOALS
世界を変えるための17の目標

Value Chain No.1 リサイクル処理



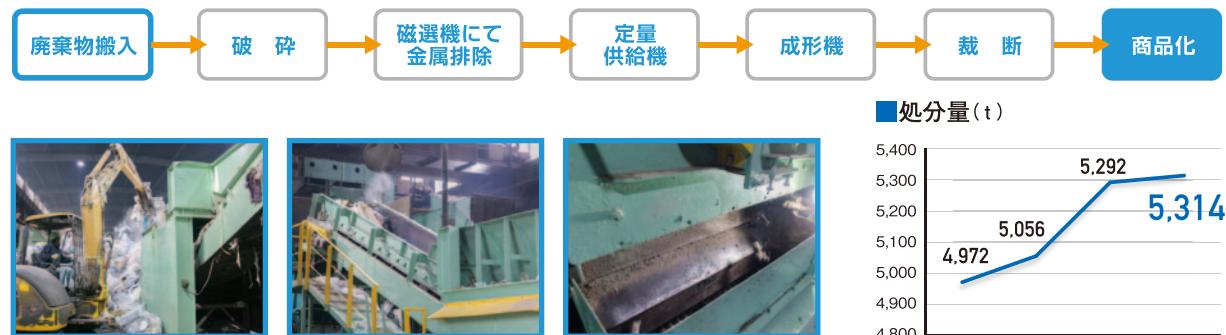
選別

多くの排出事業者様から排出される廃棄物のほとんどのものは混合廃棄物として搬入されます。リサイクル処理を行うにも適正処理を行うにもこれらの混合廃棄物を品目別、または処理別に選別する必要があります。パブリックグループでは、さまざまな施設、重機や人の力を使い、リサイクル率の向上と適正処理に努めております。



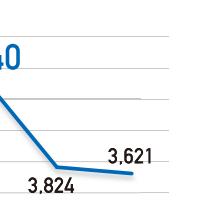
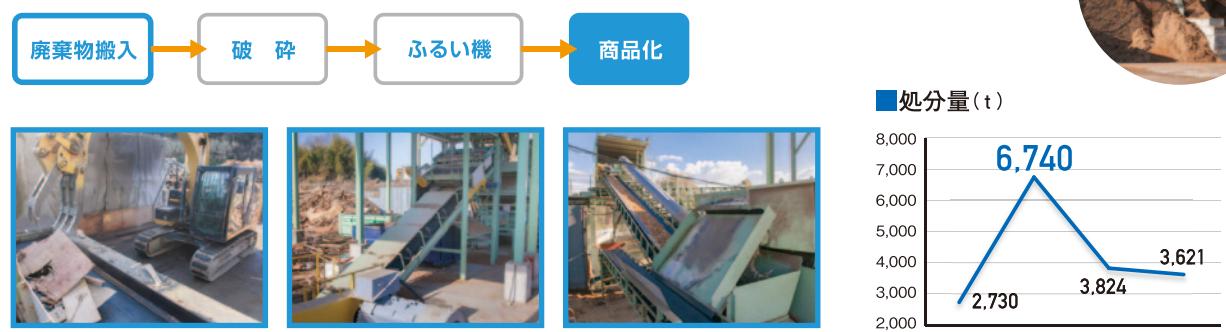
固体燃料化

廃プラスチック類や紙くずなどの石油製品や木くずなど燃焼性に優れた廃棄物を主原料として固体燃料を製造しリサイクルしています。固体燃料は石炭やコークス等の化石燃料に変わる代替え燃料として、資源の有効利用と低炭素社会の実現へ貢献します。



木くず

家屋の解体工事や街路樹の剪定、台風などの災害による倒木で発生する廃棄物の木くずを破碎処理します。最後は木材チップとなり、重さごとに選別され、紙、燃料、建築資材などにリサイクルされます。



不燃ごみ

スーパー やコンビニから集めてきた不燃ごみをペットボトル、スチール缶、アルミ缶、びん、その他プラスチック類に選別し、リサイクルします。不燃ごみを分別することで資源化できる施設です。



Value Chain Management

バリュー チューン・マネジメント

SUSTAINABLE GOALS
世界を変えるための17の目標

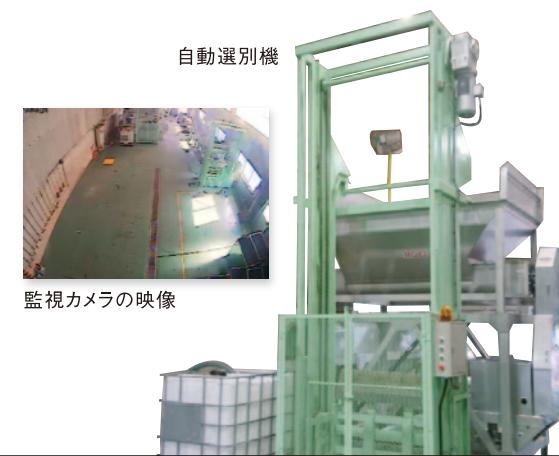
Value Chain No.2 食品リサイクル

弊社では昨年、三豊オーガニックステーションに自動選別機を導入し、廃棄製品の投入から選別までの作業を自動化することができました。また、堆肥化施設が敷地内に併設されているため、運搬効率もあがり処理能力の向上と作業負担の軽減などによる作業環境の改善にもつながりました。最近では食品ロスについても大きな問題になっており、多くの企業様から取引条件として食品リサイクル施設が整備されていることが条件として上がることも多くなりました。大手スーパー・マーケットやコンビニチェーン様などは独自のルートを構築し、食品リサイクルループを完成させている企業様もございます。弊社としましても、四国では食品循環資源リサイクル(リサイクル・ループ)のパイオニアとして、より一層リサイクル業務に取り組んで参りたいと思います。



法令遵守

弊社の食品リサイクル工場では、搬入された廃棄製品を自動選別機にて食品残渣と容器類に選別し、選別された食品残渣は発酵乾燥され堆肥化工場に、容器類は固形燃料化処理等適正に処分しております。また、廃棄物処理業者による廃棄食品の横流し事件がありましたが、私ども工場ではこのような事を起こさないよう24時間カメラにて現場を監視しております。



「もったいない 汚泥発酵肥料 リ・グリーン」

食品循環資源を有効活用したリサイクル肥料です。
土壌の改善をし、野菜や果物の成長を促します。袋詰め製品、バラの配達承ります。

特徴	成分	施用量
動植物性残渣・食品工業汚泥バーク・粉殻を利用したミネラル分豊富な肥料です。また通気性・保水性・保肥力に富み、地力の増進及び土壌改良効果を發揮します。特に葉物野菜のキャベツやレタス等に最適です。当社ファームで栽培しているみかんも好評を頂いております。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 硝素全量(%) 1.7 ■ リン酸全量(%) 0.8 ■ 加里全量(%) 0.9 ■ 炭素窒素比(C/N比) 9 ■ 水分(%) 41.8 ■ 有機物含有量(%) 51.0 	<p>1袋:40L／15kg入り</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ハウス温室 3/4袋 (3.3m²当たり) ■露地作物・家庭菜園 1袋 (3.3m²当たり) ■鉢物 20袋 (鉢容積当たり)

*重金属や化学薬品等の環境影響を与えるものは含まれておりません。



パブリック・オーガニックファーム

パブリック・オーガニックファームは、「もったいない 汚泥発酵肥料 リ・グリーン」の試験農場として2009年よりスタートしました。広さは約7000m²あり、四季を通じて、様々な野菜や花卉・果樹を栽培しています。収穫された野菜などは弊社指定管理の「萩の湯」などで地元の皆様に提供させていただいております。



いろいろな野菜や果物、植物を栽培しております。



チャンスコール(クレーム)とその対策

パブリック・グループにお寄せ頂いたクレーム(苦情)を、私達は成長のきっかけとなるチャンスコールと捉えて、前向きに対処させて頂いております。



ホテルに宿泊のお客様より、寝ている時にゴミ回収車の音がうるさくて眠れないとのクレームがありました。

対応!

同じサービス業としてお客様の立場に立って考える部分で配慮が欠けていました。ホテルにお泊りのお客様の中には早く出発される方もいれば、チェックアウトまでゆっくりされる方もいらっしゃいます。収集の順番を変更し、時間を遅らせて伺いするようにすることでご了承いただきました。

用語集

「PUBLIC WAY ~社会正義への道~」にて使用した用語をわかりやすくご説明いたします。

マニフェスト

産業廃棄物管理票(マニフェスト)とは、廃棄物の処理が適正に実施されたかどうか確認するために作成する書類です。排出事業者は、マニフェストを作成して「委託した産業廃棄物が適正に処理されたか」を確認する義務が課せられています。排出事業者の交付するマニフェストには、誰がどのような産業廃棄物をどのように取り扱うかということが記載されています。処理業者は、このマニフェストに対して委託された業務を何時完了したかという情報を記載して返送することになっています。

■全国産業廃棄物連合会 <https://www.zensanpaisen.or.jp/index.html>

RPF (Refuse derived paper and plastics densified Fuel)

産業廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な廃プラスチックと古紙、木屑などを主原料にした高カロリーな固形燃料です。含水量が低く、貯蔵特性に優れ、発火の危険性も低く、熱量の調整も容易です。化石燃料の代替品として注目されています。現在製紙工場や製鉄所でボイラー燃料として利用されています。

■日本RPF工業会 <http://www.jrpf.gr.jp/>

サーマルリサイクル

廃棄物を単に焼却処理せず、焼却の際に発生する熱エネルギーを回収・利用することである。容器包装リサイクル法で認められた油化・ガス化の他、焼却熱利用、廃棄物発電、セメントキルン原燃料化、廃棄物固形燃料などがある。

PUBLIC WAY 2019-20 | 編集後記 |

今回PUBLIC WAY 2019-20を御拝読いただき心から感謝申し上げます。

また、発行にあたりご協力いただきました皆さまありがとうございました。

今回はホームページもリニューアルしました。1月に県外からデザイン会社のスタッフと撮影クールにお越しいただき、香川県内の各事業所、処分場を回り3日間撮影を行いました。リサイクル施設の制作は初めてとのことで、スタッフの方も大変興味を持ってもらえたようで撮影時間が予想以上に長くかかったところもありましたが無事に撮影を終えることが出来ました。

スタッフの中には香川県が初めてのかたもいらっしゃったので、お昼にはうどん、夜は骨付き鳥と香川を堪能してもらいました。撮影した内容は動画も含めてホームページにアップしておりますのでご覧になってください。 <https://www.public-g.com>

また、高松事業所に選別施設が完成し、混合廃棄物の受入が可能になりました。日量最大120m³の処理能力で皆さまからの受入に対応し、さらなるリサイクル率の向上に努めていきたいと思います。

その他の記事や内容につきましてご意見、ご感想などございましたら、同封しておりますアンケート用紙に御記載頂ければ幸いです。

今後ともパブリックグループともどもご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社パブリック PUBLIC WAY 編集委員会

2019年12月1日

本報告書の作成について

本報告書は「FSC認証紙(ミックス品)」と揮発性有機化合物(VOC)を含まない「Non-VOCインキ」を使用し、また有害廃液を出さない「水なし印刷」の技術を用いて印刷しております。

できるだけ環境に配慮した印刷を試みており、ここではこれらの解説を致します。



水なし印刷

水なし印刷は、印刷時の現像液や印刷時の湿し水を使わず、廃液の処理や湿し水の製造にかかるCO₂もゼロになる環境にやさしい印刷方式。その水なし印刷による印刷物であることを認証し、製造過程で排出したCO₂を埋め合わせ(オフセット)、印刷物1部あたりのオフセット量を明記しました。



Non-VOCインキ

大豆油インキの植物性溶剤の比率が20~40パーセントに対し、「ノンVOCインキ」は、VOCの含有量を1パーセント以下もしくはゼロとなっています。大豆油インキ従来の溶剤に比べて、揮発性のない植物油(大豆油)の割合を増やしたものです。従来のインキと比較すると、石油系溶剤を20~40パーセント減らせます。



FSC認証紙(ミックス品)

FSC認証林及びリサイクルされた木材や木材繊維からの製品グループです(第三者により検証されたポストコンシューマーリサイクル原材料含有)。